

農業・農村の有する多面的機能

農業・農村には、野菜などの生産の場としての役割だけではなく、私たちの生活に色々な『めぐみ』をもたらす働きがあります。このめぐみを「農業・農村の有する多面的機能」と呼んでいます。

農村の景観を保全する機能

有機物を分解する機能

文化を伝承する機能

暑さをやわらげる機能

体験学習と教育の機能

土砂崩れを防ぐ機能

土の流出を防ぐ機能

洪水を防ぐ機能

川の流れを安定させる機能

地下水をつくる機能

癒しや安らぎをもたらす機能

生きもののすみかになる機能



中国四国地域の農業遺産認定地域

○ 中国四国地域では、現在3地域が世界農業遺産、日本農業遺産の認定を受けている。



日本農業遺産 奥出雲地域（島根県）

「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」



たたら製鉄の時代から砂鉄採掘跡地に計画的に農地を生み出し、砂鉄採取のために整備した水利、森林資源保全のシステム等を活かした農業が今も継承されている。



日本農業遺産

南予地域（愛媛県）

「愛媛・南予の柑橘農業システム」



漁業で移り住んだ先人達がリアス式海岸の厳しい立地に開拓した広大な段畑は、太陽と海の恵みを受けて、国内有数の柑橘生産地帯への成長。優れたランドスケープが継承されている。



日曜劇場
VIVANT
島根県ロケ地



世界農業遺産・日本農業遺産 にし阿波地域（徳島県）

「にし阿波の傾斜地農耕システム」



条件厳しい山間地で、段々畑のような水平面を形成せず、敷き草（カヤ）をすき込み土の流出を最小限に抑え、傾斜地のまま農耕し雑穀や伝統野菜、山菜、果樹が栽培されている。



世界農業遺産徳島県にし阿波地域 野菜生産者 田口農園代表

山間傾斜地で続けてきた「小さな農業」が世界農業遺産になった。認定後、カヤを使った環境に優しい農法で栽培された農産物に注目が集まり、現在は、カフェへの食材供給、ECサイトでの全国販売、教育旅行の受入も行っている。農業遺産の認定は田口農園の農業経営を豊かにしてくれた。



多面的機能支払は 地域の共同活動を支援します！

農業・農村は、食料の生産だけでなく、洪水や土砂崩れを防いだり、美しい景観や伝統文化を守るなど、私たちの生活に色々な「めぐみ（多面的機能）」をもたらしています。本制度は、こうした農業・農村の多面的機能が適切に発揮されるよう、地域の共同活動を支援しています。

農地維持支払

担い手に集中する地域資源（農地、水路、農道等）の保全管理を地域で支え、農地集積を後押しする活動を支援

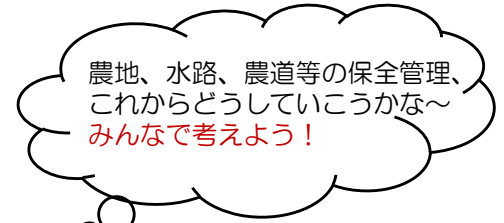
【支援対象(一例)】



農地、農道法面の草刈り



水路の泥上げ



活動期間中に作成

地域資源保全
管理構想

円/10㍍

田	3,000
畑	2,000
草地	250

資源向上支払

地域資源の質的向上を図る共同活動又は施設の長寿命化のための活動を支援

【支援対象(一例)】

○ 共同活動



施設の軽微な補修



植栽活動

○ 共同活動

円/10㍍

田	2,400
畑	1,440
草地	240

※注

○ 長寿命化のための活動

円/10㍍

田	4,400
畑	2,000
草地	400

※注

○ 長寿命化のための活動



農道の舗装

多面的機能支払交付金のロゴマーク

中央の多面体は農業・農村の有する多面的機能、それを囲む両手は地域の共同活動の手でそれを守っている様子を表現しています。そして、多面体の各色は、農地・水の情景を表しています。

- 緑色：稲や野菜、牧草が育つ様子
- 茶色：田植え前の田んぼや種まき前の畑
- 水色：田畑をうるおす水
- 薄茶色：稲や麦の実り
- 桃色：みんなの協働の心



高めよう 地域協働の力！

【※注】本紙に掲載している交付単価は、基本となる交付単価です。組織の認定農用地面積や活動内容などにより、交付単価が異なる場合があります。本制度の詳細については、お近くの市町村担当窓口にご相談ください。

多面的機能支払の活動内容などの紹介についてはこちら！

多面的機能支払メールマガジン

農村ふるさと保全通信

多面的機能支払の先進活動組織やリーダーの紹介、制度情報など、活動組織等の皆様にとって有益となる情報を配信しています。

【配信申し込み】

配信を希望される方は、農林水産省が発行しているメールマガジンの新規配信登録の入力フォームからご登録ください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

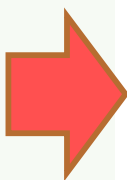
【農村ふるさと保全通信への投稿】

皆様の活動組織の紹介など、メールマガジンの原稿を随時、受付しています。

以下のアドレスにお送りください。

tamen_ml@maff.go.jp

バックナンバーは
QRコードからもご覧
いただけます



ご登録を
お願いします！



Facebookもチェック



農村振興局Facebookでは農業・農村振興施策や地域の取組などを写真や動画とともにお届けしています！

<https://www.facebook.com/nouson.maff/>



農林水産省
農村振興局



いいね！
してね！



「多面的機能支払交付金の ロゴマーク」♪

高めよう 地域協働の力！



◇ ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

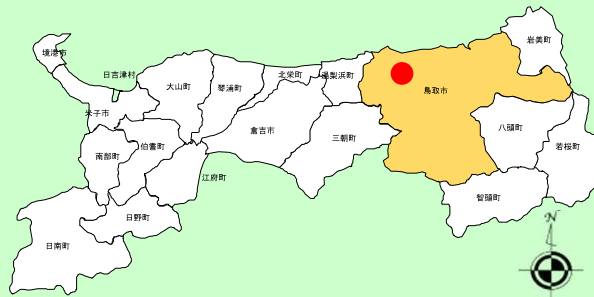
https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

令和5年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（鳥取県）

【多面的機能支払】

「^{えげ}会下部落地域資源・環境保全プロジェクト」^{とっとりし}（鳥取市）

- (1) 認定農用地面積：21.8ha
（田：17.5ha、畑：4.3ha）
- (2) 組織構成：
1 集落（農家 11 戸、非農家 18 戸）



【組織の概要】

本組織は、鳥取県東部地域にある鳥取市の西側に位置しており、弥生時代の集落跡が発掘されていますが、およそ 430 年前の室町時代の末に農地開発され、同時に農業用水確保のため池として「大堤池」が作られた歴史的な背景があります。

平成 19 年度に本活動組織を立ち上げ、「大堤池」を中心とした農村文化の伝統行事や景観形成活動により地域の活性化に取り組んでいます。

また、集落が一体となって取り組む鳥獣被害防止対策や田んぼダム、農地・農業用施設の長寿命化の活動に、集落内の青年部や地元大学生と一体となって取り組むなど、多様な人材が参画した活動を行っています。

【主な取組み内容】

○「大堤池」を中心とした農村文化の伝統行事や景観形成活動

毎年、大堤池の水を抜き「ウグイ（魚伏籠）」といわれる竹で編んだ筒状の漁具を使った「ウグイ突き漁」という 400 年以上受け継がれた伝統漁法を行っており、ため池の管理と農村文化の継承を地域一体となって取り組んでいます。

また、他組織への視察をきっかけに、芝桜を使った景観形成活動に取り組んでいます。女性役員が中心となり、組織独自の栽培方法で地域のいたる所に植栽された芝桜は、春になると可憐に咲き誇り、地区内外から多くの方が見学に訪れています。

○多様な人材が参画した活動

ウグイ突き漁、景観形成活動、草刈り、水路清掃、鳥獣害防護柵の設置などの活動に大学生がボランティアとして参加するとともに、地元小学校からも郷土学習として参加しています。また、地元青年団に所属する若い世代も、活動組織指導のもと、農業用施設の補修活動を実施しています。



伝統漁法のウグイ突き漁



芝桜での景観形成活動



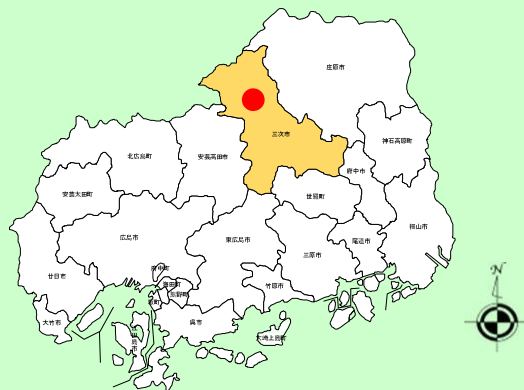
地域一体となった鳥獣被害対策

令和5年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（広島県）

【多面的機能支払】

いしはら みよしし
「石原活動組織」（三次市）

- (1) 認定農用地面積：60.1ha
（田：59.7ha、畑：0.4ha）
- (2) 組織構成：
8集落（農家30戸、非農家29戸）



【組織の概要】

本地区は、広島県三次市北部の君田町に位置し、典型的な中山間地域で基盤整備された田で水稻を中心に営農しています。平成12年度から中山間等直接支払制度を活用し、平成19年度から本交付金に取り組んでいます。

ボランティア集団が活動の先導役として地域を支えており、農業従事者の負担を軽減し持続可能な共同活動を実現しています。また、女性会が中心となって遊休農地を活用した野菜作りや加工品の作成など行い、地域の活性化に繋がっています。

【主な取組み内容】

○地域が一体で行う鳥獣被害対策

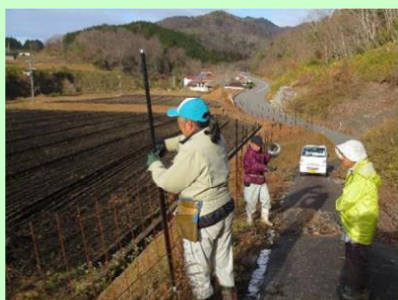
会社を定年退職されたボランティア集団プロボラ（プロフェッショナルでボランティア精神をもって地域を支える方々）が、柵の補修など鳥獣被害対策の日常管理を行っています。また、市と連携して獣被害対策のICT化（監視カメラ）を実施し、被害の減少を実感しています。

○“女性が動けば地域が変わる”をテーマに女性が主体の活動

女性会「石原ひまわり会」は、遊休農地を活用したモデル圃場を共同管理し、野菜の生産や出荷、オリジナルロゴマークを付けた加工品づくりを行っています。

○転作田や遊休農地を活用した取組

地域としては約30年、活動組織としては約10年、転作田の有効活用と多様な交流の拡大を目指してひまわりの植栽を続けており、「あったか村川とひまわりまつり」では毎年多くの観光客が訪れ賑わっています。また、遊休農地の活用と農業経営基盤の強化に向けて、農業法人を中心にもち麦を栽培して六次産業化に取り組んでいます。



地域一体型の鳥獣被害対策



男女参画の意見交換会



ひまわり植栽による景観形成活動